

株式会社みんなのウェディング (東証マザーズ 3685)

2017年9月期 第2四半期決算説明資料

2017年5月

本資料に掲載されている計画、見通しに関する内容については、資料作成時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、リスクや不確定要因を含んでおります。従いまして、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

2017年9月期第2四半期 決算ハイライト

■ 2017年9月期第2四半期業績（累計）

- 売上高805百万円（前年同期比△9.4%）、営業利益74百万円（前年同期比△47.7%）
- 2016年1月のプロデュース事業の譲渡及び、一部取引先の倒産・事業撤退や式場掲載サービスの低価格プランへの移行により売上高が前年同期比で減少。
- 当四半期では本社移転関連費34百万円（主に減価償却費）が発生。

■ サイト価値について

- 結婚式場へのユーザー訪問予約数はキャンペーンがユーザーニーズを捉えきれず、前年同月比12.6%減少。
- 全体UB数、のべ結婚式ページ利用者数も前年同月比で減少するなど、サービスは一部が課題となった。

■ 事業構造の変革に向けた状況

- 事業構造の変革に伴う商品改定により、結婚式場が参画しやすい環境となり有料掲載式場数が前四半期末比21件増加。
- メディア一体型オンラインデスクとして送客したユーザーの成約件数も積み上がり始めた。

※結婚式場へのユーザー訪問予約数：ユーザーが「みんなのウェディング」サイト経由で結婚式場を訪問予約した件数。

全体UB数：「みんなのウェディング」サイトの月間利用者数をブラウザ数と端末数から算出。2015年6月より「みんなのウェディングアプリ」の月間利用者数も含む。

のべ結婚式場ページ利用者数：「みんなのウェディング」サイトに掲載している結婚式場ページを閲覧した利用者数を結婚式場ごとに算出して累計した数。

1. 業績概要 (2016年10月1日～2017年3月31日)

業績概要 損益計算書



当期は、本社移転に伴う減価償却費等の増加により営業利益は減少する一方、投資有価証券の売却益等で当期純利益は同等となる業績予想。

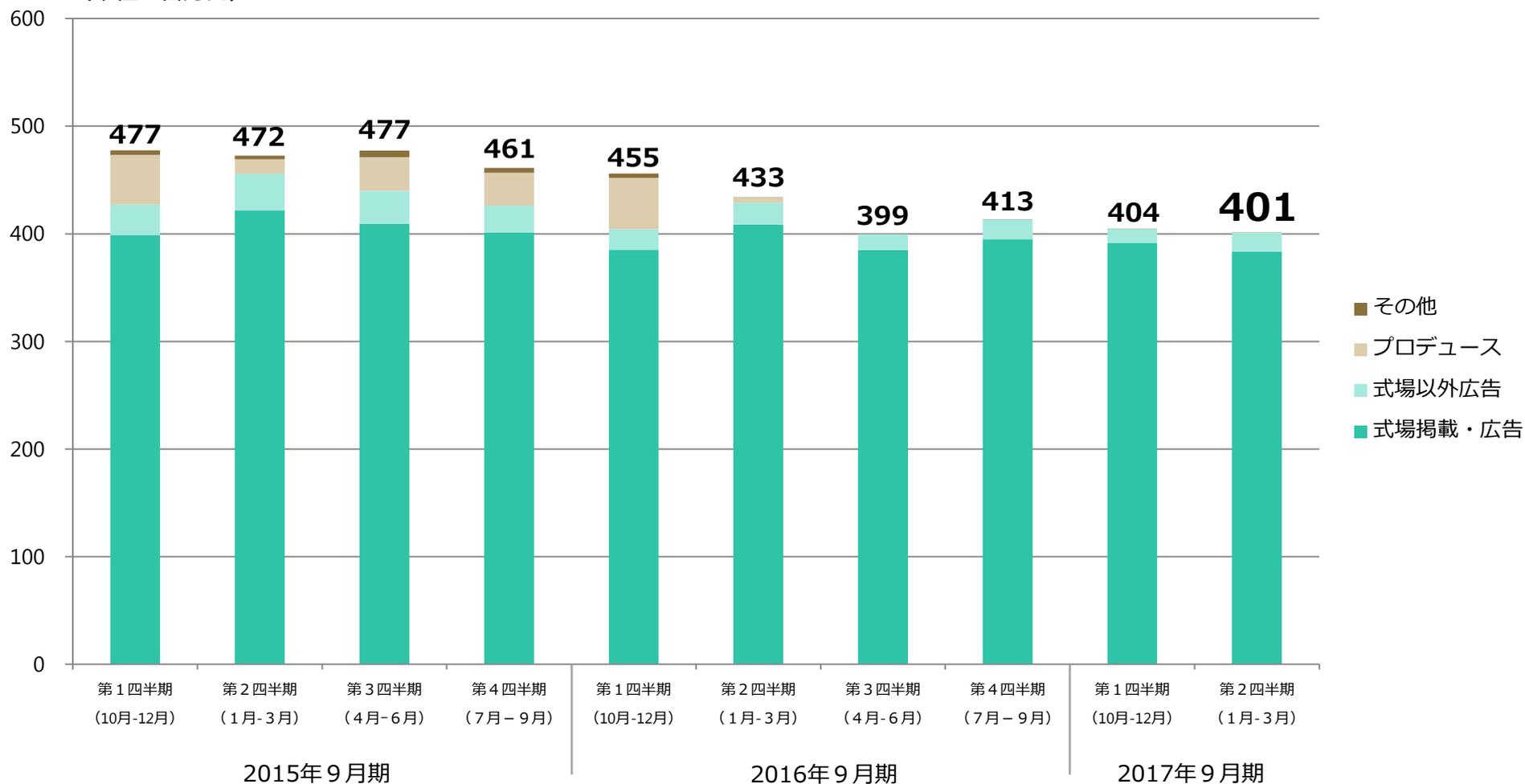
単位：百万円	2016年9月期 通期 (2015年10月～2016年9月)	2017年9月期 通期業績予想 (3月修正) (2016年10月～2017年9月)	2016年9月期 第2四半期 (累計) (2015年10月～2016年3月)	2017年9月期 第2四半期 (累計) (2016年10月～2017年3月)	前年同期比 (累計)
売上高	1,703	1,650	889	805	△9.4%
EBITDA <small>(※1)</small>	324	211	180	134	△25.6%
営業利益	234	47	143	74	△47.7%
営業利益率	13.8%	2.8%	16.1%	9.3%	—
経常利益	236	47	144	75	△48.0%
当期純利益	152	149	93	193	+107.1%

(※1) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

売上高 四半期推移

一部取引先の倒産・事業撤退や、式場掲載サービスの低価格プランへの移行により式場掲載料・広告料が減少した。

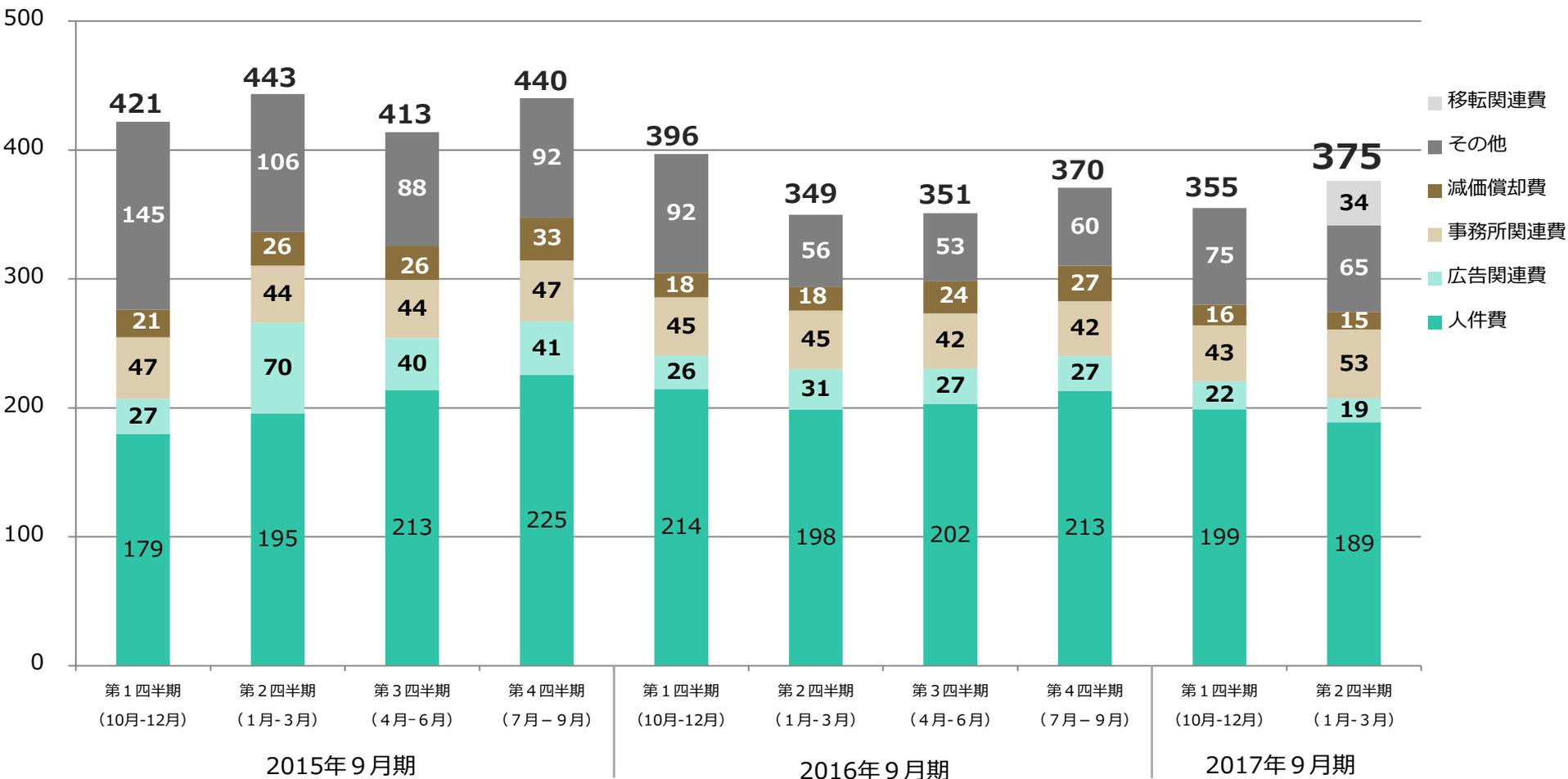
(単位：百万円)



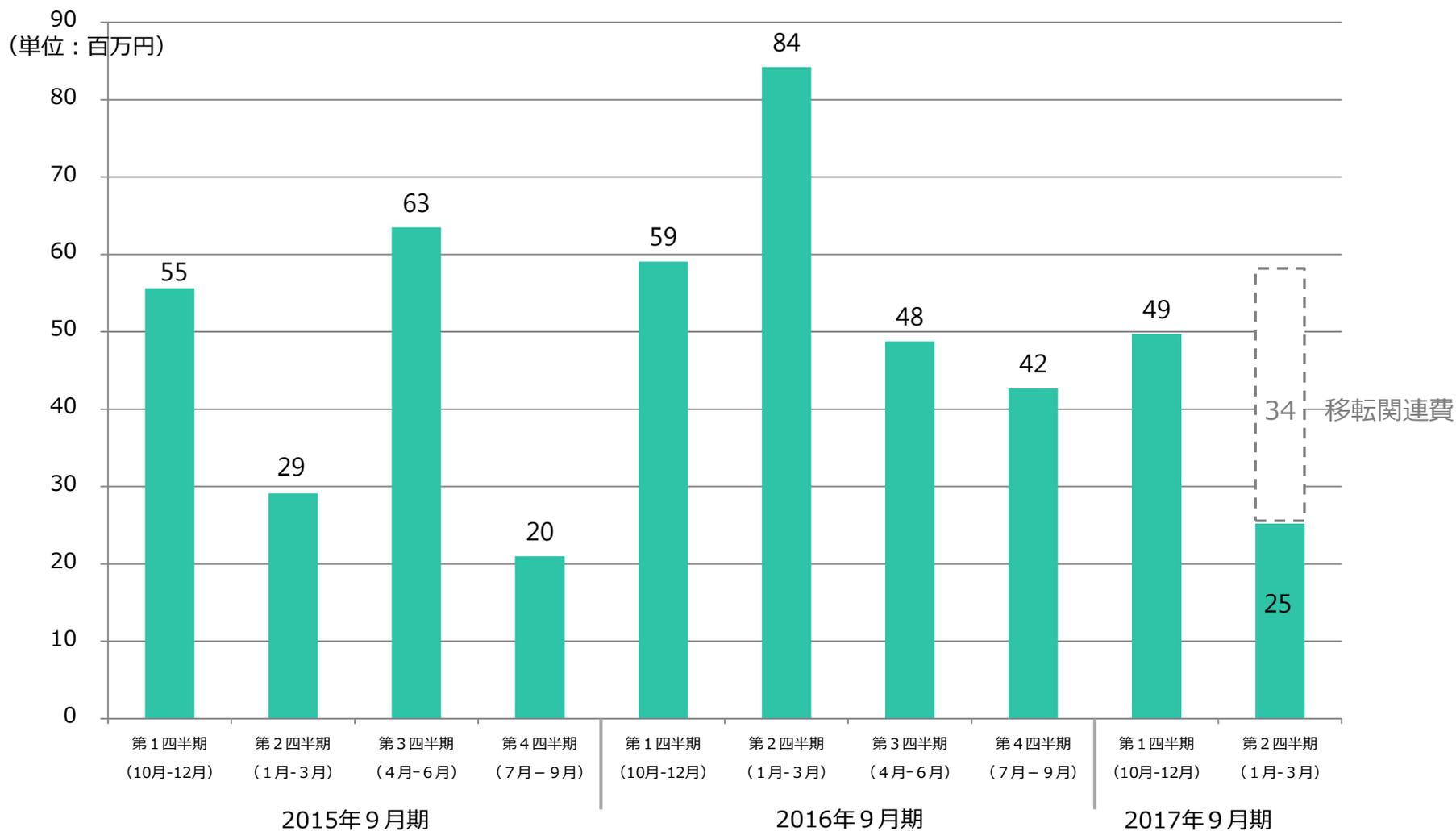
売上原価、販売費及び一般管理費の四半期推移

移転に伴う建物附属設備の早期償却による減価償却費の増加等、本社移転関連費が発生している。

(単位：百万円)



営業利益 四半期推移



業績概要 貸借対照表

投資有価証券の売却、株式給付信託（J-ESOP）の廃止に伴う自己株式の消却により、大きく変動。

(単位：百万円)

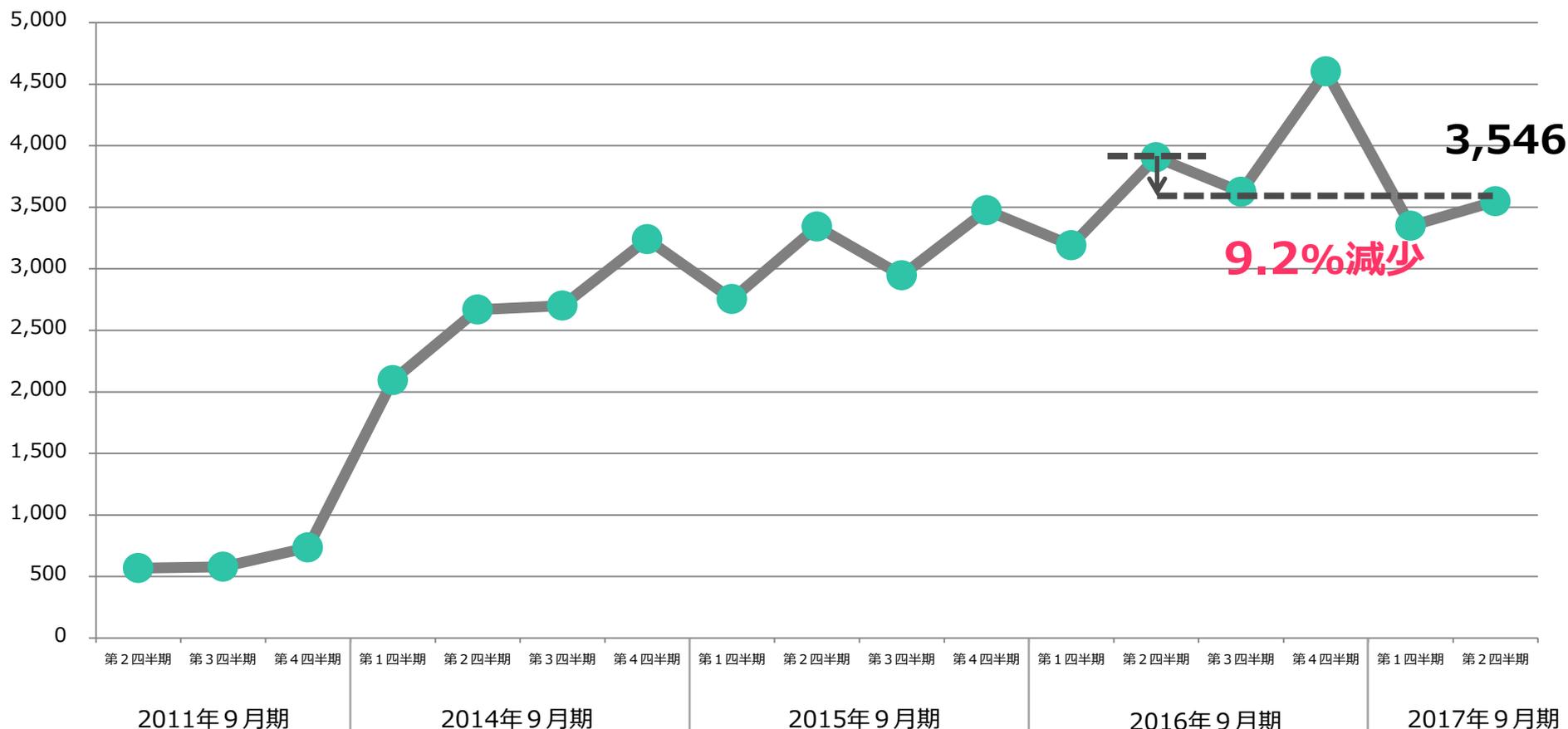
2016年9月期末	主な増減理由	2017年9月期 第2四半期末
<ul style="list-style-type: none"> ・現預金 (2,666) ・その他 (312) 流動資産 (2,979)	投資有価証券の売却による現預金の増加 +729	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金 (3,435) ・その他 (323) 流動資産 (3,758)
負債合計 (301) <ul style="list-style-type: none"> ・資本金等 (2,899) ・利益余剰金 (565) ・自己株式 (△199) 純資産 (3,265)	投資有価証券の売却 △229 自己株式消却 +199	負債合計 (408) <ul style="list-style-type: none"> ・資本金等 (2,899) ・利益余剰金 (758) ・自己株式 (－) 純資産 (3,658)
固定資産 (587)		固定資産 (307)

2. サービスの状況

全体UB数

全体UB数は、第1四半期に一部の記事で近時の品質基準に満たないものを非掲載とした影響を受け、前年同月比では**9.2%減少**した。

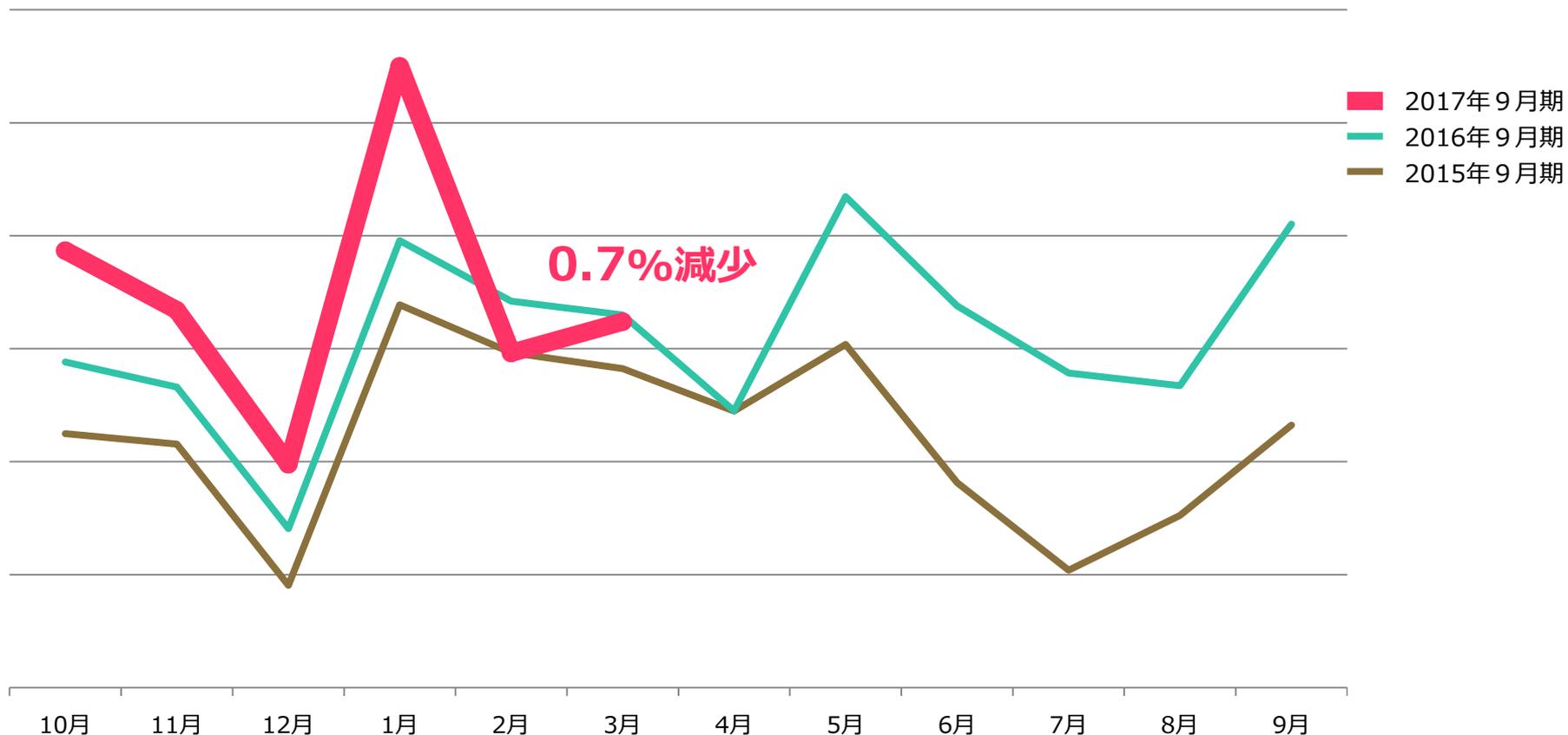
(単位：千人)



(※) 全体UB数：「みんなのウェディング」サイトの月間利用者数をブラウザ数と端末数から算出。2015年6月より「みんなのウェディングアプリ」の月間利用者数も含む。

のべ結婚式場ページ利用者数

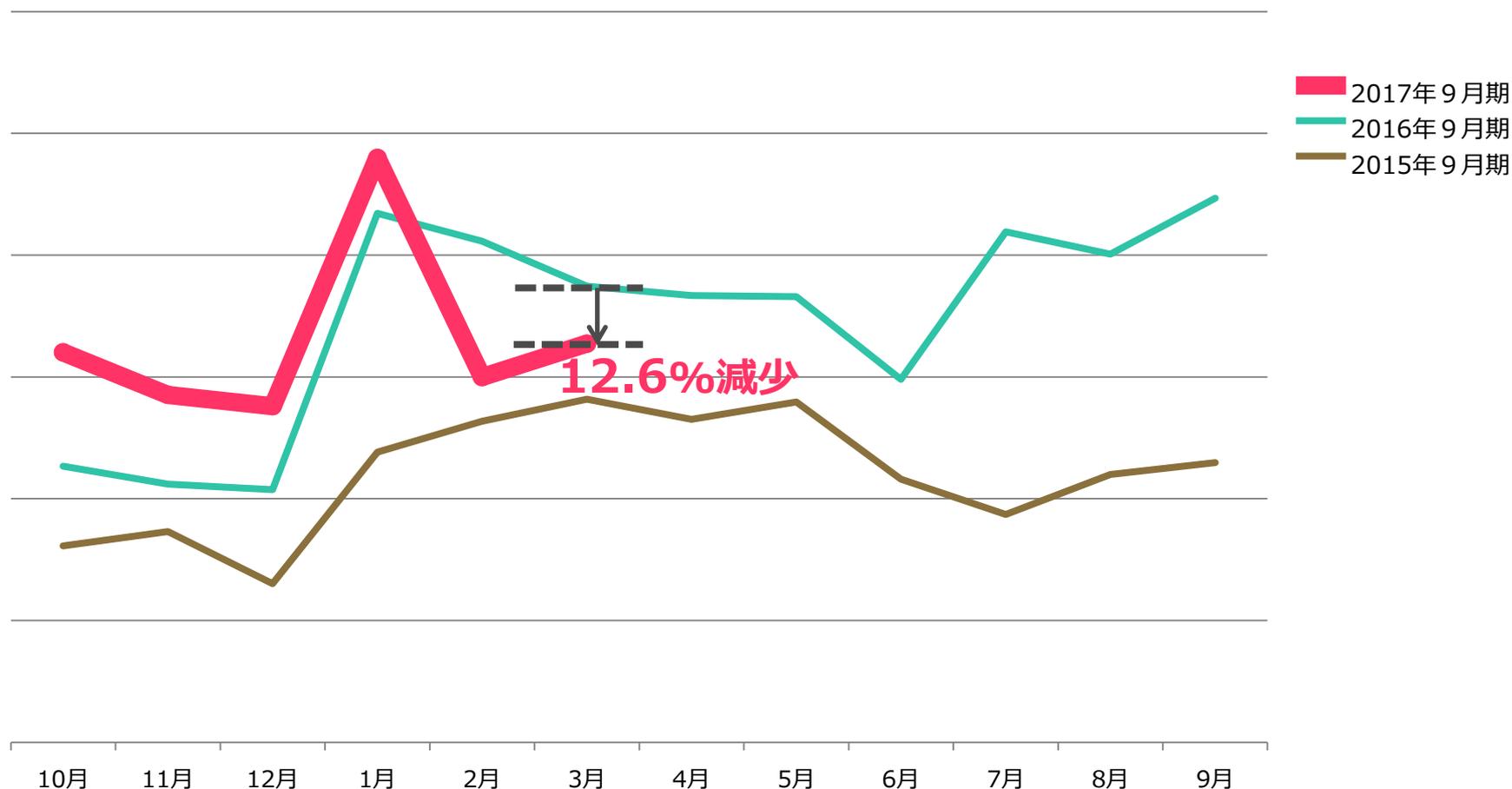
結婚式場探しをしていると想定される「のべ結婚式場ページ利用者数」は、Googleアルゴリズム変更の影響で前年同月比**0.7%減少**した。



(※) のべ結婚式場ページ利用者数：「みんなのウェディング」サイトに掲載している結婚式場ページを閲覧した利用者数を結婚式場ごとに算出して累計した数。

結婚式場へのユーザー訪問予約数（web経由）

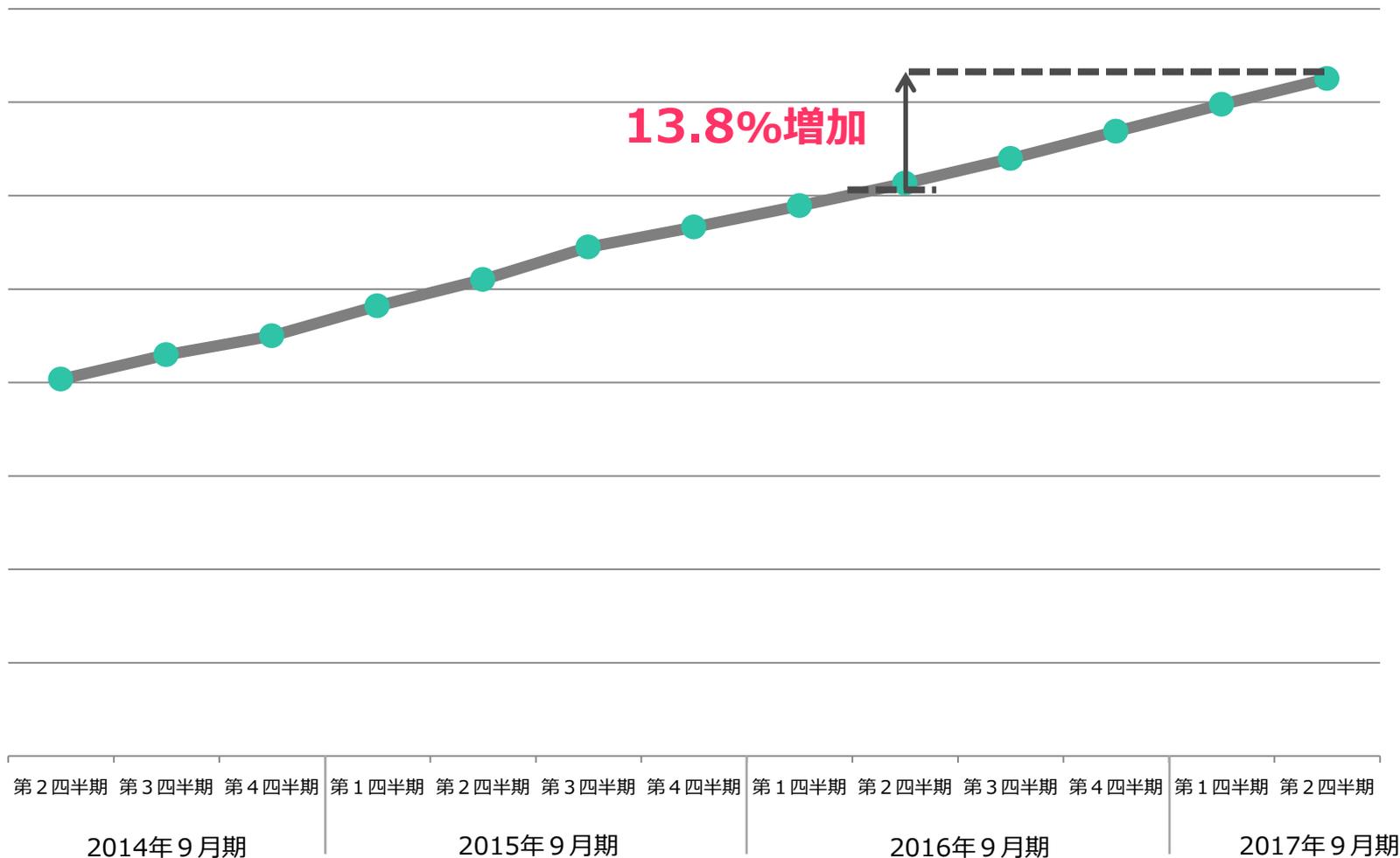
みんなのウェディングサイトを介した結婚式場へのユーザー訪問予約数は、キャンペーンがユーザーニーズを捉えきれず、前年同月比**12.6%減少**した。



(※) 結婚式場へのユーザー訪問予約数：ユーザーが「みんなのウェディング」サイト経由で結婚式場をweb訪問予約した件数。

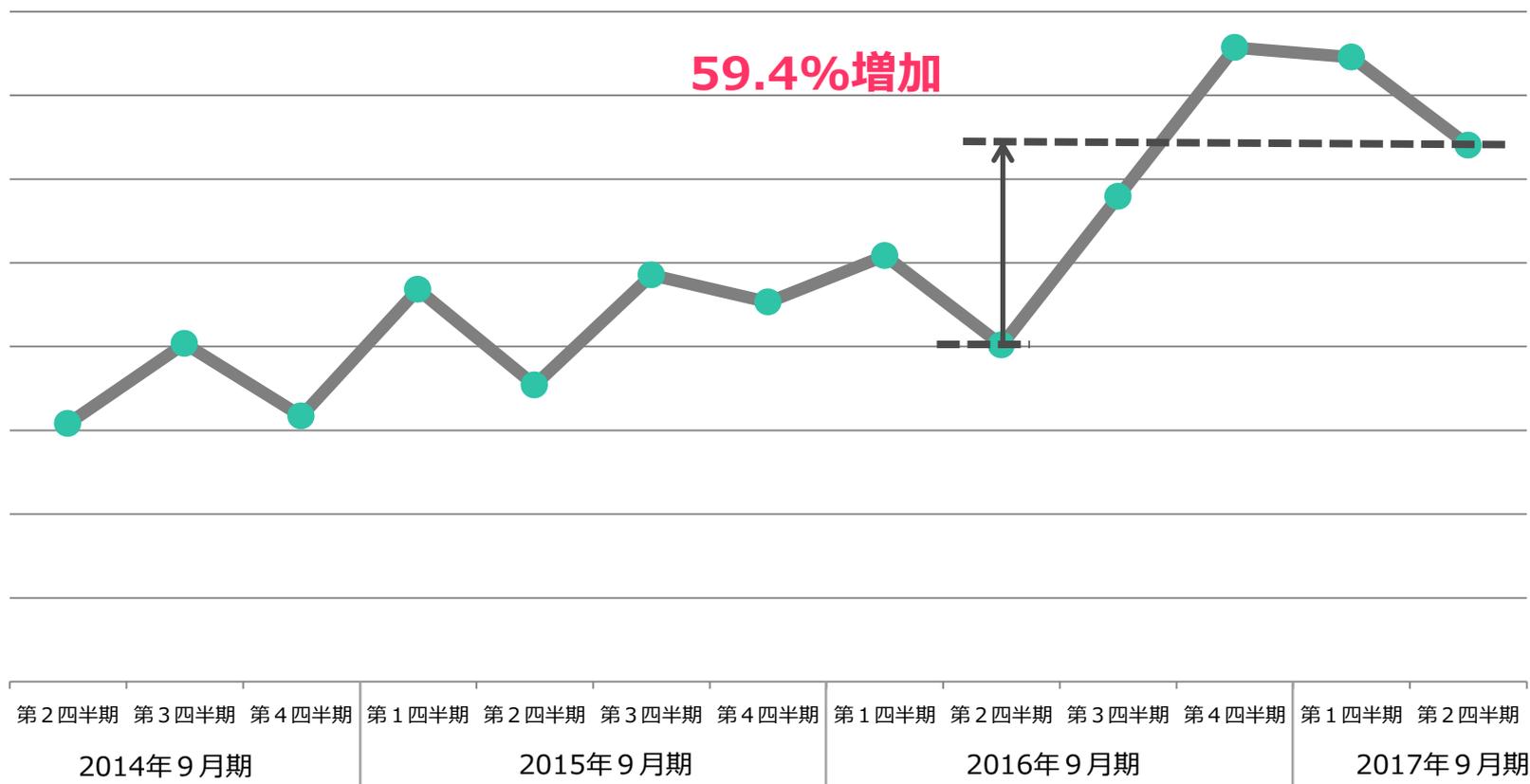
口コミ投稿累計件数

結婚式場の口コミ投稿累計件数は順調に推移し、前年同月比**13.8%増加**した。



本番口コミ投稿件数 四半期毎合計

当四半期の本番口コミ（実際に結婚式場で結婚식을挙げたユーザーからの口コミ）投稿件数は、前年同期に比べ**59.4%増加**した。

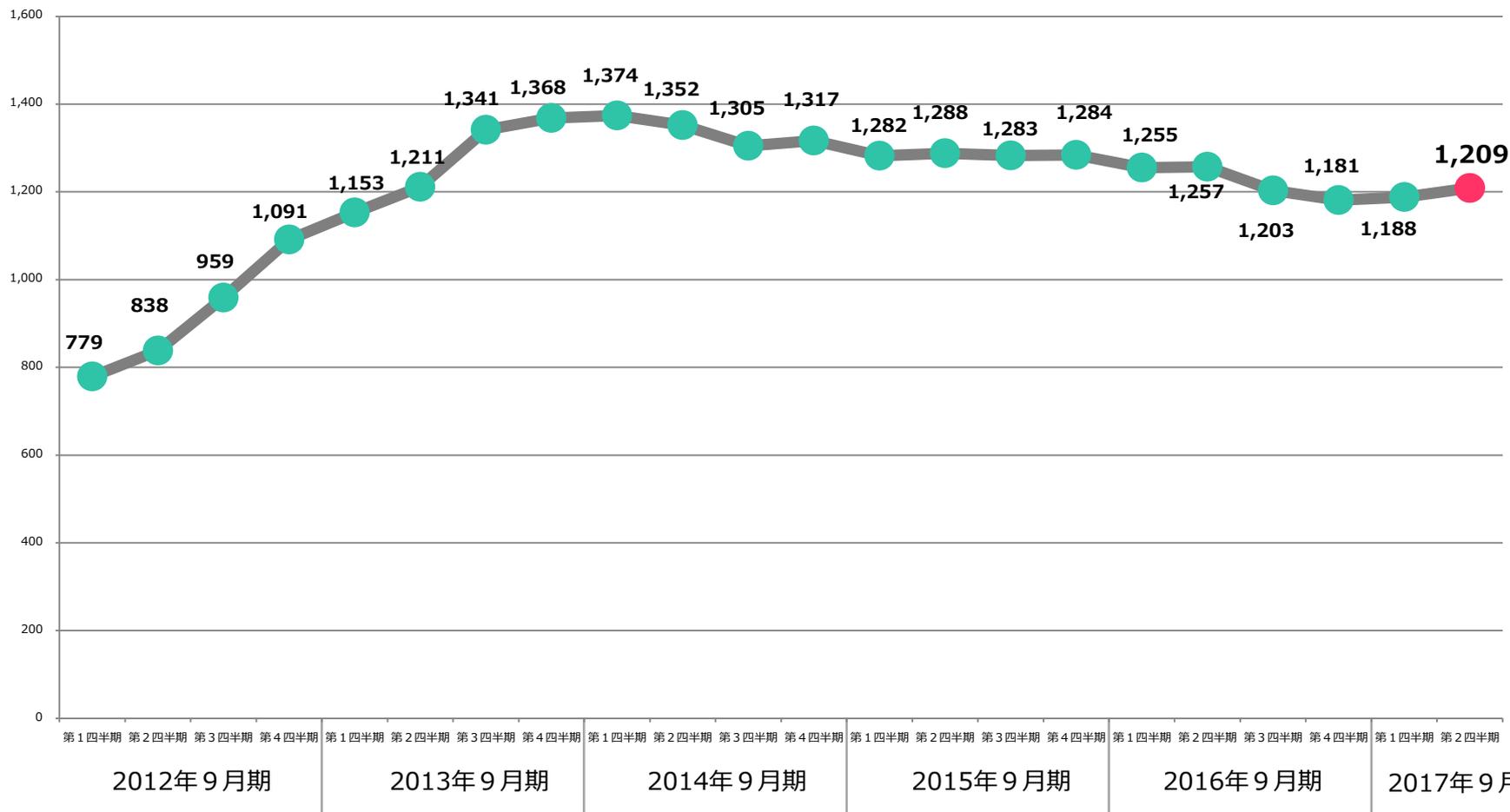


(※) 本番口コミ：実際に結婚式場で結婚식을挙げたユーザーからの口コミ。

有料掲載結婚式場数

結婚式場が参画しやすい課金モデルへの移行開始により、有料掲載結婚式場数は**増加**した。

(単位：件)



(※) 有料掲載結婚式場数：「みんなのウェディング」サイトに掲載している結婚式場のうち当社と契約している結婚式場の当該月末の件数。

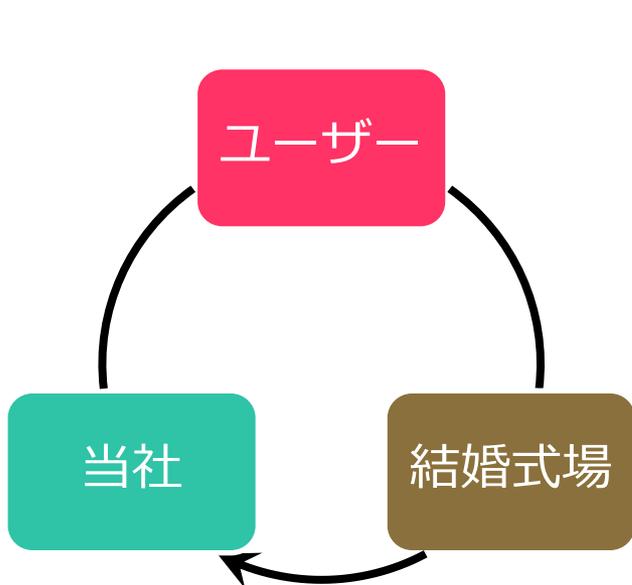
サービスの課題については、以下の通り対策を進めています。

- | | | |
|---------------------------------|--|---|
| ■ 全体UB数 | • 2017年9月期第1四半期に、一部の記事で近時の品質基準に満たないものを非掲載としたことで、前年同月比減少した。 | • 質の高いオリジナルコンテンツの掲載に継続的に努めていく方針。 |
| ■ のべ結婚式場ページ利用者数 | • 2月にGoogleアルゴリズムの変更による影響を受け、一時的に検索結果順位が下がった。 | • 対応が進み、4月は前年同月比で同等となった。 |
| ■ 結婚式場へのユーザー訪問予約数（web経由） | • キャンペーンを実施したが、ユーザーニーズを捉えきれず前年同月比で減少した。 | • より魅力的なキャンペーンを実施しつつ、ユーザーデスクの強化やサイト改善を進めて成長を図る。 |

3. 商品構造の変革に向けた取組状況

前期までの結果を踏まえ、**2017年9月期は変革**を行っています。

- ① **サービスの一層の進化**（メディア一体型オンラインデスクへの進化）
- ② **事業構造の変革**（サービスの成長を売上高につなげる構造へ）



ユーザー

- 有料掲載結婚式場数の増加 = コンテンツ量の増加となり、ユーザーにとってサイトの魅力がさらに上がるよう取り組んでいます。

- オンラインデスク化により、ユーザーにより適した結婚式場を紹介しています。

結婚式場

- 過剰なマーケティングコストにならない課金モデルへの移行により**結婚式場が参画しやすい環境**を作っています。

当社

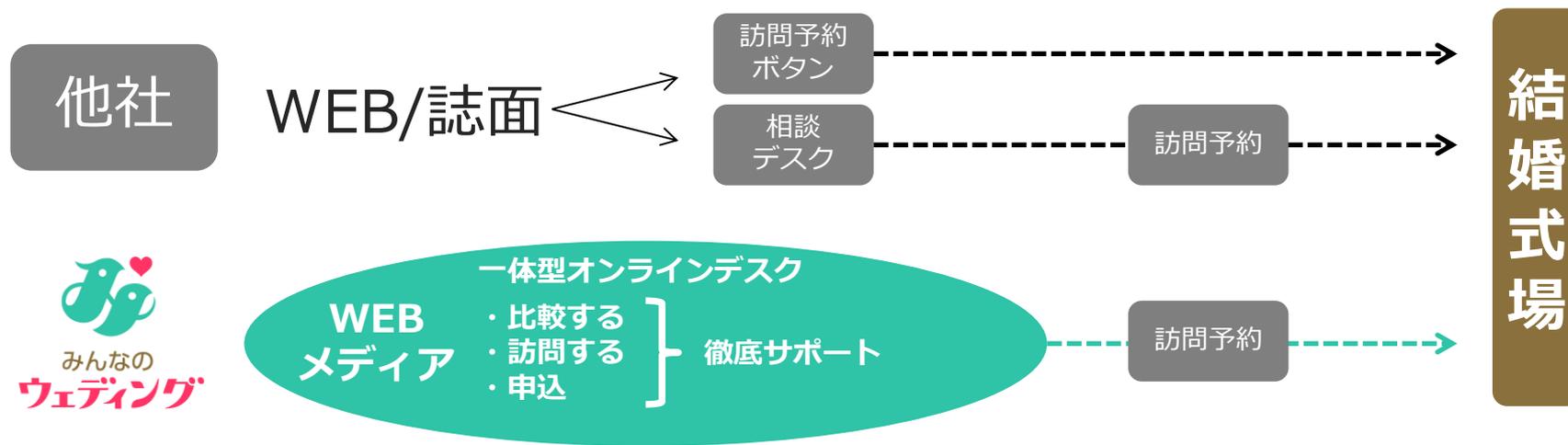
- サイト力の向上が**売上高に直結**します。

①メディア一体型オンラインデスクへの進化

強いメディア力をさらなるユーザー価値に繋げるため、オンラインデスクへの転換と強化を行っています。

■電話やチャットによるユーザーコンシェルジュ機能を強化

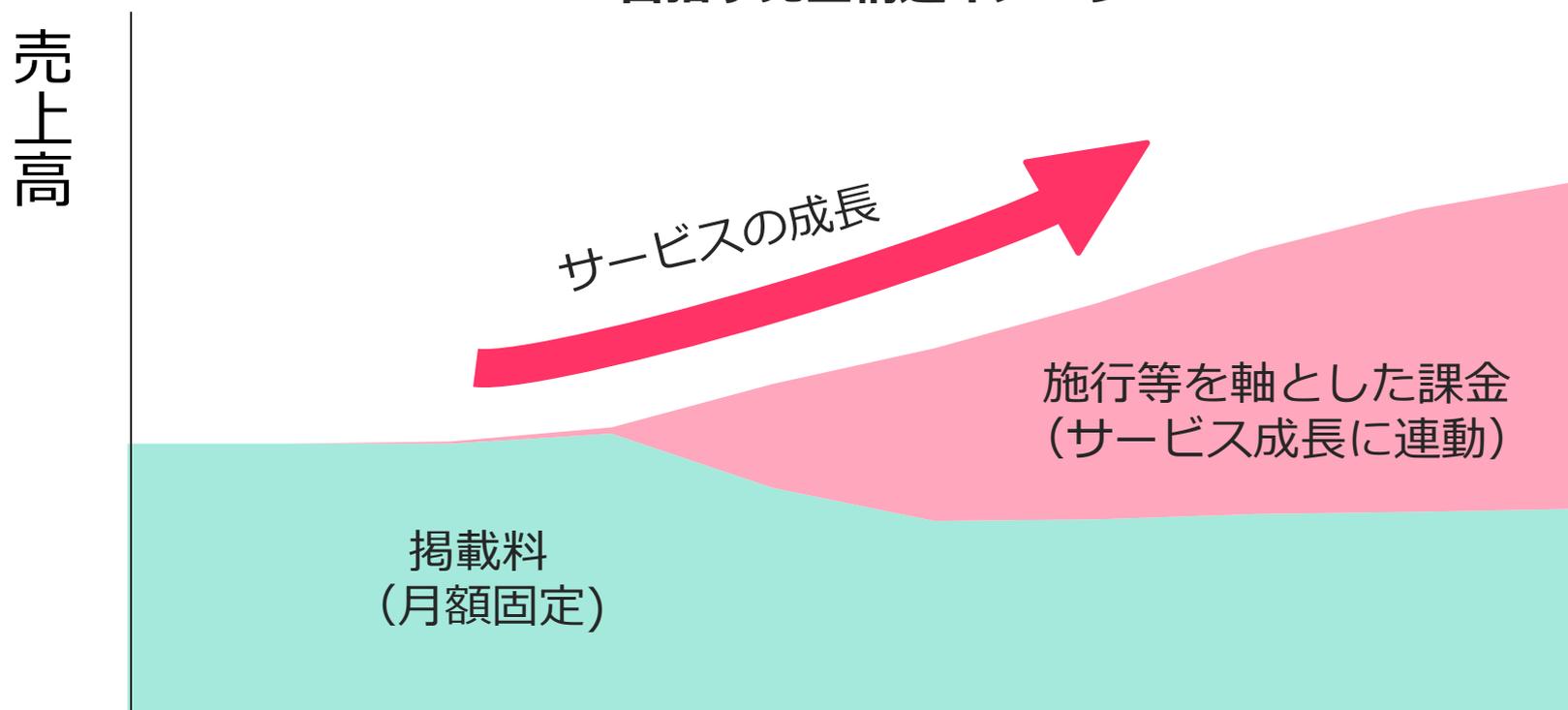
ユーザーに寄り添い「**比較・訪問・申込**」を徹底サポートすることで当社サイト経由の結婚式場への**送客増加**を図っています。



②サービスの成長を売上高につなげる構造へ

結婚式場のマーケティングコストの適正化を目指し、掲載料の最適化、施行等を軸とした課金も行うモデルへと**段階的に移行**しています。

目指す売上構造イメージ



※上記売上グラフは将来イメージ図であり、弊社が策定した中期経営計画等ではありません。

サービスの 層の進化

■ オンラインデスクによる相談対応／式場への送客

- LINE@による相談件数が増加し始めた。
- オンラインデスク経由のユーザーの成約件数が増え始めた。
- Web経由の訪問予約数は成長が鈍化。

コンテンツ 量の増加

■ 結婚式場の参画が引き続き増加傾向

- 新しい契約体系により、当社初掲載となる結婚式場も参画。過去の取引先の一部と再度契約開始も。
- 有料掲載結婚式場数は前四半期末比+21件と引き続き参画が増えている。
- 既契約のクライアントに対する新しい契約体系への切替のペースに遅れが発生。

売上高への 反映

■ サイト力向上が当社売上高へ反映する見込み

- 結婚式申込（成約）から売上計上までタイムラグがあるモデル。
- 新しい課金体系への契約移行期間。
- サービス進化／成長期間。
- 課金対象の成約件数は徐々に積み上がり始めた。

4. 当四半期のトピックス

穂田氏による株式公開買付けの結果（2017年2月28日終了）

- 上記の結果、2017年3月7日をもって、クックパッドは当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社ではなくなりました。
- 取締役穂田誉輝は当社への経営全般に対する関与度を深め、2017年2月に業務執行取締役となりました。

2017年3月末の大株主の状況（株式公開買付け後、自己株式消却後）

氏名・名称	株式数(千)	割合	備考
穂田 誉輝	4,573	59.3%	取締役会長
飯尾 慶介	385	4.9%	
石渡 進介	330	4.2%	代表取締役社長兼CEO
YJ1号投資事業組合	299	3.8%	
日本証券金融株式会社	128	1.6%	
セントラル短資株式会社	127	1.6%	
佐々木 聡晃	113	1.4%	
楽天証券株式会社	92	1.2%	
新井 普之	91	1.1%	当社従業員
間瀬 紀彦	60	0.7%	取締役

2017年2月3日開催の取締役会において、本社移転の決議を行いました。将来的に固定費が相当程度減少します。

本社移転 の背景

- **メディア事業への注力により人員増加が緩やかに**
 - 2014年11月に今後の業容拡大に備えて本社を移転
 - しかし、2016年1月に経営資源をインターネットメディア等に集中させることとし、結婚式プロデュース「Brideal」を事業譲渡
 - そのため、緩やかな人員増加となっている

本社移転の 目的

- **移転後は相当程度の固定費削減を見込む。ただし、2017年9月期は減価償却費が増加し利益を圧迫**
 - 現在の本社にかかる建物附属設備を期間短縮して償却するため非資金費用である減価償却費が一時的に増加
 - 移転後の固定費は相当程度減少する見込みで、**将来的には利益の出やすい体質に**

その他

- 移転の時期：2017年9月（予定）
- 移転先：東京都港区三田1-4-28

投資有価証券の売却について

株式会社うるるの東京証券取引所マザーズ市場への株式上場に際し、当社が保有する同社普通株式の全てを売出して売却致しました。

- | | |
|-------------|-----------------------|
| • 売却株式 | 株式会社うるる普通株式（264,300株） |
| • 株式売渡期日 | 2017年3月16日 |
| • 投資有価証券売却益 | 499百万円 |

上記のとおり、当四半期に投資有価証券売却益を特別利益に計上致しました。

※本件に関する詳細は、2017年3月7日に開示の「投資有価証券の売却（詳細決定）に関するお知らせ」及び、同3月17日に開示した「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

本信託を廃止するため、自己株式を無償で取得し消却を行いました。

■ 経営体制の変更に伴う方針の変更により廃止

- 2014年9月12日に従業員のインセンティブプランとして導入を決議したが2015年7月より経営体制が変更になり、従業員等に対する報酬制度を検討してきた結果、廃止に至る。

■ 自己株式を無償で取得し消却

- みずほ信託銀行株式会社との信託解消のため、2017年3月29日に自己株式を無償取得し消却を行った。
- 消却した株式の総数 163,100株（2.07%）
- 消却後の発行済み株式総額 7,709,200株

■ 業績への影響

- 株式給付制度解約損として202百万円を特別損失に計上。
- 本特別損失は損金算入ができない。

※本件に関する詳細は、2017年3月17日に開示した「株式給付信託（J-ESOP）の廃止並びに自己株式取得及び消却に関するお知らせ」及び、「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

5. 業績予想の修正について

3月17日開示の業績予想の修正について

投資有価証券の売却、株式給付信託の廃止により業績予想は前回を上回る見通しとなり、3月に業績予想の修正を行いました。

- (1) 投資有価証券売却益 499百万円（特別利益）
- (2) 株式給付制度解約損 202百万円（特別損失）

単位：百万円	2016年9月期 通期実績 <small>(2015年10月～2016年9月)</small>	2017年9月期 2月修正予想 <small>(2016年10月～2017年9月)</small>	2017年9月期 今回修正予想 <small>(2016年10月～2017年9月)</small>	前期比	前回予想比
売上高	1,703	1,650	1,650	△3.1%	—%
EBITDA <small>(※1)</small>	324	211	211	△34.9%	—%
営業利益	234	47	47	△80.0%	—%
営業利益率	13.8%	2.8%	2.8%	—	—
経常利益	236	47	47	△80.1%	—%
当期純利益	152	31	149	△2.0%	480.6%

(※1) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

みんなの
大切な日
をふやす



問合せ窓口

株式会社みんなのウェディング

経営管理部

電話：03-6264-2323（平日 9:30～18:00）

E-mail：ir@mwed.co.jp

サイト：<http://www.mwed.co.jp/ir/>

